

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年5月6日(2010.5.6)

【公表番号】特表2009-530058(P2009-530058A)

【公表日】平成21年8月27日(2009.8.27)

【年通号数】公開・登録公報2009-034

【出願番号】特願2009-501673(P2009-501673)

【国際特許分類】

A 6 1 L 15/58 (2006.01)

A 6 1 K 9/70 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 15/06

A 6 1 K 9/70 4 0 1

A 6 1 K 47/32

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月19日(2010.3.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

互いに交差し格子パターンを形成する、感圧接着剤の少なくとも 2 つの直線のストリップを含むパターンの、ホットメルト感圧接着剤層を含む医療用接着テープであって、

接着剤のない、複数の平行四辺形の開口部が、前記格子パターンの前記ストライプによって形成され、各平行四辺形の開口部が、主対角線 (A)、副対角線 (B) を有し、前記主対角線 (A) の長さが 0.5 mm ~ 10 mm であり、前記副対角線 (B) の長さが 0.3 ~ 7 mm であり、そして

前記平行四辺形の開口部により規定される接着剤のない領域が、25%より大きく、そして

前記ホットメルト感圧接着剤層が、クリープ・コンプライアンス試験により測定で、少なくとも 35% の回復率を有する、医療用接着テープ。

【請求項 2】

互いに交差し格子パターンを形成する、感圧接着剤の少なくとも 2 つの直線のストリップを含むパターンを有する、ホットメルト感圧接着剤層を含む医療用接着テープであって、

接着剤のない、複数の平行四辺形の開口部が、前記格子パターンの前記ストライプによって形成され、各平行四辺形の開口部が、主対角線 (A)、副対角線 (B) を有し、前記主対角線 (A) の長さが 0.5 mm ~ 10 mm であり、前記副対角線 (B) の長さが 0.3 ~ 7 mm であり、そして

前記平行四辺形の開口部により規定される前記接着剤のない領域が、25%より大きく、そして

前記感圧接着剤層が 66℃で少なくとも 19 日後に流動を示さない、医療用接着テープ。

。